

「太陽光パネル」

それはどれくらいの電力を発電し、
どれくらいお得なのか、
世間ではまだあまり知られていない。

これは、世間に太陽光発電の可能性を
知らしめようとするある企業の物語である。

ID 53FFF0137C

もし商店街のアーケードが
『太陽光パネル』になったら



第1章 太陽光パネルの現在の問題点

太陽光発電って聞いたことあるし、
なんだか良さそうだけど…。

いったい何がいいのかよくわからない。

もし、もっと身近に体感し、
実感できる機会があったら。

このイメージは変えられます！

第2章 解決のための3つの具体案

太陽光発電のモデルとなる場所をつくり、日常生活の中で体感できるようにします。設置場所があり、街の人に密着した場所。それが、アーケード商店街。

アーケード商店街に蓄電式太陽光パネルを設置し、様々な形で発電量を視覚化します。



panasonicHIT230 シリーズは、最大時で 230W 発電。

もし、500m のアーケード街に 150 枚の太陽光パネルをつけたら。

1 時間で最大 $230\text{Wh} \times 150 = 34500\text{Wh} = 34.5\text{KWh}$ 発電し、

1 週間では 680Wh、1 か月で 2750KWh

(パナソニック 2011 年 7 月 4 日プレスリリースより概算)

① もし、発電した電気をクーポンに変えたら。

1 週間当たり 680KWh の電気代が浮くこととなります。
1 KWh の電気代は約 18 円なので（東京電力）、
 $680\text{KWh} \times 18 \text{円} = 12240 \text{円}$ ！



この浮いたお金は商店街に来た人に還元します。

1 週間で 100 円引きクーポン 122 名様にプレゼント！

晴れの日にはクーポンがもらえるお得な日。

クーポンの裏には「もしもシリーズ」を掲載

もし 100 円お得に買えたら、帰りにパン屋さんでメロンパンが買えるよ！

もし 100 円クーポンを 20 枚集めると、Tシャツがタダで買える！

もし 100 円クーポンを 298 枚集めると、電気屋さんでエアコンが買えちゃう！

などなど。

クーポンを配ることで、お得さを実感。商店街にもまた来るきっかけに。

② もし、発電した電気を使った充電スポットがあったら。

1 台の携帯を充電するのに必要な電力はおよそ 30W。

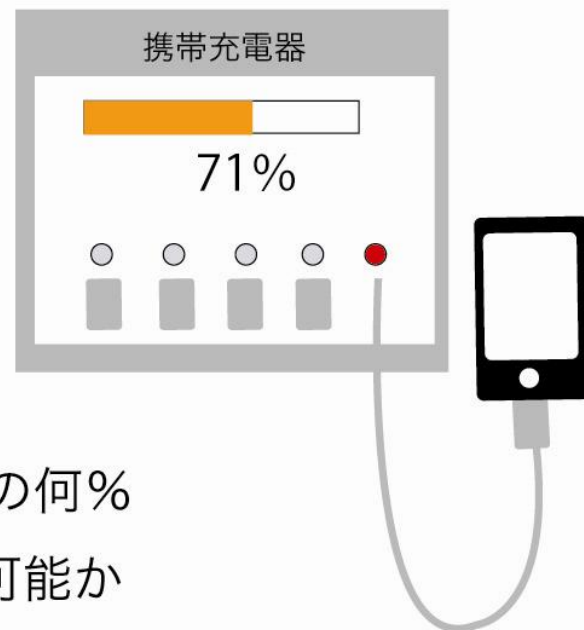
$$34.5\text{KW} \div 30\text{W} = 1150$$

アーケード街で発電した電気で充電すれば、
一時間におよそ 1150 台分もの充電が可能！

充電中の待ち時間は、知る時間に。

今アーケード街の太陽光パネルで、最大の発電の時の何%
くらい発電できているか、また、携帯何台分が充電可能か
モニターで確認できます！グラフと具体的な電化製品を使
うことで、発電量をわかりやすく伝えます。

もし災害が起ころっても、アーケード商店街には光がとまり、
電気のもとに人が集まります。



③もし、発電した電気を蓄電して、イルミネーションマーケットを行ったら。

普段夜は暗い商店街。

月に一回貯めた電気で盛り上がるう！

一か月の発電で浮いた電力は2750KWh。

$2750000W \div 60W = 45800$

これは60W電球45800個分に相当します。

明るく照らされた商店街でマーケットを開催します。

マーケットの中のメインイベントは光のショー。

やがて、街の人が自慢したり、他の街からも来たくなる商店街に。

第三章 太陽光パネルがつくる未来

太陽光パネルがアーケード商店街にやってきた。

太陽光発電は徐々に身近な存在になり、

街の人は発電の効果を実感するようになってきます。

人々は、その実感を各家庭へと持ち帰ります。

これは、太陽光パネルが家庭へと広がる可能性です。



太陽光発電。

それは未来を担うエネルギー。

太陽光パネルが日本の屋根の、
当たり前になりますように。

～未来へ・つづく～